

問1 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

1. 近所の消防署と協力して活動する      2. 市役所を新しく建てる      3. 警察に消火をお願いする      4. 火が消えるまで待つ

問2 作成した「安全マップ」を完成させたあと、地域全体の防犯のために最も大切なことは何ですか。

1. マップを自分だけの宝物として大切にしまうこと      2. マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと      3. マップを学校の校庭のすみっこに埋めること      4. マップを一度作ったら、もう内容を変えないこと

問3 自転車に乗るとき、自分の命を守るために特におすすめされているものはどれですか。

1. ひざのプロテクター      2. サングラス      3. ヘルメット      4. うでのサポーター

問4 多くの地域では、もしもの火災にそなえて「防火水そう」が設置されています。どうして、ただの水道管だけでなく防火水そうが必要なのでしょう。

1. 水道の水をそのまま使うと、消防車のポンプが壊れてしまうから      2. 消防車が水を補給する場所を町中にたくさん作るため      3. 防火水そうのほうが、水道の水よりも火を消す力が強いから      4. 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため

問5 道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない場所であることを運転する人に知らせる標識はどれですか。

1. 工事中      2. 横断禁止      3. 止まれ      4. 横断歩道

問6 火災が起きたとき、消防車が消火活動に使う水を「水道管」から取り出すための設備を何といいますか。

1. 避難はしご      2. スプリンクラー      3. 防火水そう      4. 消火栓

問7 町の中に設置されている「消火栓」は、どのような目的で道路沿いなどに作られているのでしょうか。

1. 地面のマンホールが動かないようにするため      2. 道路の掃除を消防隊が行うため      3. 飲み水をいつでも自由に飲めるようにするため      4. 火災のときに消火活動で使う水を確保するため

問8 夜や暗い道で自転車のライトをつけるのは、前をてらすことのほかに、どのような大切な理由がありますか。

1. スピードを出しやすくするため      2. まわりの虫を集めるため      3. 自分の自転車をかっこよく見せるため      4. 車や歩行者に自分の存在を知らせるため

問9 どうして110番や119番のような特別な電話番号が決められているのでしょうか。その理由として最も正しいものはどれですか。

1. 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため      2. まちの電話番号を少なくするため      3. 電話番号を覚える練習をするため      4. 電話会社が売り上げを増やすため

問10 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。

1. 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため      2. 火を燃え広がらせないため      3. 消火活動を自動で行うため      4. 建物の防犯を強化するため

問11 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

1. 持ち主の代わりに買い物へ行く      2. 落とした人の住所を教える      3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする      4. その場で財布の中身を分ける

問12 火災や災害が起きたときに、消火や救助活動を行う「消防団」のメンバーは、ふだんどのような生活をしていますか？

1. 警察官として地域の見まわりをしている      2. 消防署に住みこんで、24時間待機している      3. 会社員や自営業など、別の仕事を持っている      4. 学校の先生として働いている人だけが集まっている

問13 地震や大雨などの災害が起きたとき、警察官が町の人たちの安全を守るために行う活動はどれですか。

1. 町の人たちと仲良くなるために、お祭りやイベントを開く      2. 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る      3. 地震が起きた場所に、記念の看板を立てる      4. 災害が起きたときの避難訓練の計画を、その場で新しく立てる

問14 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といいますか。

1. 注意喚起      2. パトロール      3. 交通安全教室      4. 防犯訓練

問15 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といいますか。

1. 交通ルール      2. 信号機      3. 安全パトロール      4. 道路標識

問16 ビルや学校の階段の近くで見かけることがある「防火とびら」の主な目的は何ですか。

1. 重い荷物を運ぶための通路にする      2. 外からの泥棒が入るのを防ぐ      3. 部屋をきれいに保つために仕切る      4. 火の広がりを部屋から部屋へ防ぐ

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	<b>答え 1</b> 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問2	<b>答え 2</b> マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと	安全マップは作成して終わりではありません。情報をみんなで共有し、地域の人たちと「ここはあぶないかもしれない」「ここは安全だね」と話し合うことで、みんなの防犯意識が高まり、より安全なまちづくりにつながります。
問3	<b>答え 3</b> ヘルメット	自転車は車と同じ「車両」の仲間なので、万が一の事故の際に頭を守るためのヘルメットの着用がとても大切です。ヘルメットを正しくかぶることで、大きなけがを防ぐことができます。
問4	<b>答え 4</b> 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため	大きな地震などで水道管が壊れてしまうと、蛇口から水が出なくなることがあります。また、火災が大きくなると大量の水が必要になります。どんな状況でも消火活動を止めないよう、あらかじめ一定量の水を蓄えておくことが重要です。
問5	<b>答え 1</b> 工事中	「工事中」の標識がある場所は、道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない状態です。この標識を見ることで、運転する人はスピードを落としたり、周りをよく見て注意して進んだりすることができます。
問6	<b>答え 4</b> 消火栓	消火栓は、道路の下を通っている水道管とつながっており、消防隊がホースをつなぐことで効率よく水を確保できるように作られています。地域の火災被害を広げないために、街のいろいろな場所に設置されています。
問7	<b>答え 4</b> 火災のときに消火活動で使う水を確保するため	火災が起きたとき、消防車に積んでいる水だけでは足りなくなることがあります。消火栓は、水道のせんの役割を果たし、水道管から直接水をくみ上げることで、長時間の消火活動を助ける大切な役割を担っています。
問8	<b>答え 4</b> 車や歩行者に自分の存在を知らせるため	自転車のライトには、前をてらして道路の様子を見やすくするだけでなく、車を運転している人や歩いている人に「ここに自転車がありますよ」と自分の存在を知らせる大切な役割があります。これにより、お互いに早く気づくことができ、事故を防ぐことができます。
問9	<b>答え 1</b> 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため	緊急の出来事は一刻を争うため、迷わずにすぐ連絡できるよう、特別な番号が決められています。これらは市民の命や大切な財産を守るための、非常に重要な仕組みです。
問10	<b>答え 1</b> 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。
問11	<b>答え 3</b> 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問12	<b>答え 3</b> 会社員や自営業など、別の仕事を持っている	消防団は、ふだんは自分の仕事を持っている地域の人たちが集まって作られている組織です。火災や災害が発生したときに、消防署と協力して地域の安全を守るために活動します。消防署員のように24時間署に常駐しているわけではありません。
問13	<b>答え 2</b> 住民を安全な場所に避難させたり、交通整理をしたりして、みんなの安全を守る	災害が起きたとき、警察官は、住民を安全な場所に避難させたり、パトロールや道路の交通整理をしたりして、二次災害を防ぎ、みんなの安全を守るために活動します。
問14	<b>答え 4</b> 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問15	<b>答え 4</b> 道路標識	道路標識は、道路のわきや上に取りつけられた板（看板）で、車を運転する人や歩いている人に、その場所での決まりや、先に危険があることを知らせて安全を守るためのものです。これらを正しく理解して守ることが、事故を防ぐためにとても大切です。
問16	<b>答え 4</b> 火の広がりやを部屋から部屋へ防ぐ	防火とびらは、万が一建物の中で火災が起きたとき、火や煙が他の部屋や階に燃え移るのを物理的に食い止めるために設置されています。これにより、人々が安全に外へ逃げるための時間を稼ぐという大切な役割があります。